吹田二中サッカー部が大切にしたいもの

2012年12月20日
顧問：大曲、柳田

サッカー部ではまず人間としての成長を第一に考え、そのうえでみんなには大好きなサッカーを頑張ってほしいと考えています。しかし最近、顧問として心配になる場面にいくつか遭遇しました。

下の３本柱が君たちもすでに知っているサッカー部の基本方針です。
もう一度じっくり読み直してみましょう。
最近の自分はどうですか？振り返ってみて５点満点でつけてみましょう。

（１）友達思いのクラブ

Ａチーム、Ｂチーム関係なく、一人一人がサッカー部のかけがえのない仲間です。
「仲間への思いやり」　これを何よりも大切にしよう。
自分の言葉、行動で嫌な思いをしている仲間はいませんか。
自分は直接かかわってなくても、つらい思いをしている仲間はいませんか。
一人でもそんな仲間がいたらサッカー部の存在価値はゼロです。
思いやりがなく仲間に嫌な思いをさせる人、仲間の和を乱す人は、サッカーをやる資格はありません。もしそんな人がいたら絶対に放っておかないこと。
まわりに流されるな。きちっと一人一人が善悪の判断をしなさい。
ベストは自分たちで解決すること。無理なら先生に相談しなさい。

（自分）　／５	（チーム）　／５

（２）規律あるクラブ

①挨拶・返事　②敬語　③時間厳守　④集合・移動はダッシュ　　など
すべて君たちの今後の人生に役に立ちます。しっかりやろう。
お手伝いできることがあれば「喜んで」の精神で。

（自分）　／５	（チーム）　／５

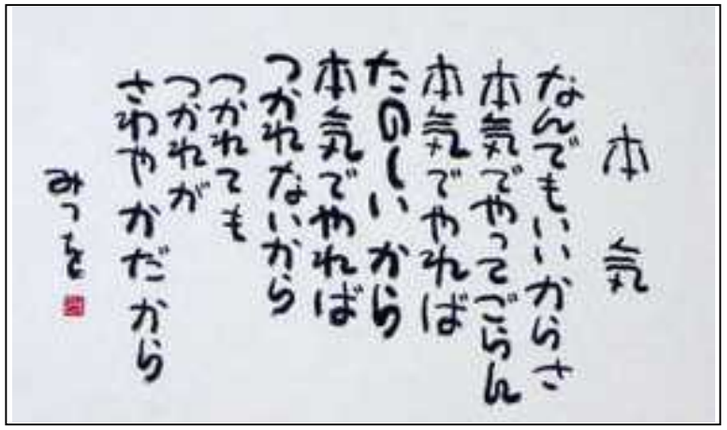
（３）強いクラブ

「どうせやるなら日本一を目指せ。」
これは国見高校の監督をされていた小嶺先生の言葉です。結果はどうであれ、一人一人がこれくらい高い意識でサッカーに取り組めば、きっとチームは強くなります。これもＡチーム、Ｂチーム関係ない。一人一人がいろんな形でチームに貢献できるはずです。

（自分）　／５	（チーム）　／５

君たちに紹介したい相田みつをさんの言葉が２つあります。

ほしいものがあって、それを奪い合えば足りなくなりますね。お互いが「どうぞ」と譲る気持ちを持てば余りますよね。
自分中心に考える人ばかりの集団ではいつか崩壊します。**相手のことを思いやる集団ならその集団はとても居心地がよく、いざというときにも団結できる強い集団となるのではないでしょうか。**
鍵をとりにいくこと、マーカーを回収すること、ブラシをかけること、自分がやらなければ自分はラクかもしれません。でもこれを進んで自分からやる集団ってとてもいい集団だと思いませんか。
仲間への思いやりにも通じる話ですね。



サッカー部の活動で「しんどいなあ」と思うこともあるでしょう。
そんなとき、「できるだけラクしよう」「何とかして手を抜こう」と逃げれば逃げるほど、そのしんどさは余計に自分の身にのしかかってくるものです。
そんなとき、ぜひこの相田みつをさんの言葉を思い出してください。一度サッカー部で頑張ると男が覚悟を決めたなら、トコトン本気でやってみよう。ド真剣に本気でやると違う世界が見えてくると思うよ。みんながよく知っているＳＭＡＰの木村拓哉さんも

「手を抜く方が疲れる」

と言っています。すべてが一流の彼らしい名言ですね。

また明日から、**かけがえのない仲間とともに**頑張っていきましょう。